

平成 23 年度 第 5 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 24 年 1 月 21 日(土) 15：30～17：50
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：林委員長，望月委員，山田委員，中嶋委員，児島委員，碓井委員(スカイプ)，
渡邊委員
(事務局) 井端事務局長，森下主幹，松本職員

IV. 議事概要

検討に入る前に，事務局より配布資料について説明あり。

1. 検討内容 学士力の実現に求められる教育改善モデルについて

今回は，教育改善モデルの点検・評価・改善について審議を行うこととし，前回の検討課題として提出された資料「③.1」および「③.2」について，課題提出者より報告の後，各委員より意見が開陳された。主な意見ならびに審議内容は，以下の通り。

- ① 学生が身につけるべき能力・学士力を具体的な到達目標として掲げ，そのような授業が行えたのか，担当教員による「振り返りのしくみ」をどのように構築するかが重要である。
- ② 授業後の受講生からの授業評価として得られたデータに基づいて，教員がお互いに本音で当該授業を本音で評価する場をいかに形成するか。
- ③ 授業評価のピアレビューについては，第三者機関あるいはグローバル人材の育成の観点から外国人によるピアレビューの導入について。
- ④ カリキュラムの構成を考慮した授業評価方法について。

これらの観点から，両教育改善モデルにおける評価方法について議論した結果，以下の「授業の点検・評価・改善」とすることにした。

(1) 授業改善モデルその 1

この授業の点検・評価・改善は，教員による授業の評価シートと学生による学習ポートフォリオを組み合わせることで担当教員と関連科目を担当する教員がネット上で到達目標の達成度について意見交流できるようにする。その上で，学内外の有識者に中立的なピアレビューを依頼し，その意見を参考にして行う。

(2) 授業改善モデルその 2

この授業の点検・評価・改善は，教員による授業の評価シートと学生による学習ポートフォリオを組み合わせることで担当教員と経済学以外の幅広い学問領域の専門家や有識者の参加を得て，ネット上で到達目標の達成度やカリキュラム全般について意見交流できるようにする。その上で，学内外の有識者に中立的なピアレビューを依頼し，その意見を参考にして行う。

2. 今後の検討スケジュールについて

今年度の委員会は，今回にて終了する。来年度は，1)教育改善モデルの編集作業，2)教員の教育力，というテーマで役割分担し，9月末を目途に執筆を進める。

3. 検討課題

特になし。

4. 次回の開催日程

新年度，4月以降に開催予定。

以上